



姫路医療生協現勢
(2018年9月30日現在)

●組合員 20,498人

●出資金 427,340千円

●1人平均出資金額 20,848円

〒670-0832 姫路市双葉町10番地 ☎079-285-3398
E-mail info@himeji-mcoop.or.jp



西林寺

(宍粟市)



▶鐘楼

宍粟市一宮町にある西林寺は、開基は天正年間(約450年前)と言われ、向かいの山の中腹には虚空蔵菩薩を祀る奥の院を擁し、本尊は十一面観音像菩薩(非公開)です。
「明和8年頃(約250年前)と明治初期の二度の火災で、寺と共に書物等が全焼したため、はっきりとした歴史はわかりません」と話す弓削御住職。現御住職は第23世になるそうです。

現在、西林寺の歴史調査中



このことですが、調査した書類では、龍野藩の宝幢寺ほうとうじの僧侶が西林寺に赴任し第15世英法印となり、その際に持参した宝尊佛が今も西林寺に祀られているとのこと、たつのも縁深いお寺だそうです。

「西林寺の鐘楼は平成元年、日本古来の幻の技法と言われる版築工法で建立しました。鐘楼の土台の中に直径70cmの瓶びん6個が梅の花の形に埋められており、音響効果が素晴らしい。鐘の音は柔らかく余韻が非常に長く綺麗な音色です」と弓削御住職。

鐘楼落慶法要では檀家関係者約50人が参加し、150人余りの稚児が同じ大きさの鐘のレプリカと共に、昔ながらの鐘引き行列を再現されたそうです。新聞にも大きく報道されたそうです。

(取材 常任理事 川井隆)

